

## 令和7年12月5日 麻生市民館岡上分館利用者説明会 質疑応答

主な質問・意見（要点）	回答・対応（要点）
<p>図書室の整備について、紙製の人工芝を敷くなど、レイアウトが大幅に変更されるように見えるが、郷土誌会の貴重な資料を収集していたり、読書会も開催している。利用者とともに検討することを希望。</p>	<p>図書室レイアウトは4月から一気に変更するのではなく、利用者と一緒に考えていくので安心してほしい。現在の使用形態を前提に、より使いやすく、今後の活用の方向性を踏まえながら、利用者の皆様と一緒に作っていく。要望を聞きながら進めたい。</p>
<p>市民館には館の見守りやモニタリングを行う行政職員が不在になるが、将来的な継続性をどのように考えているか。</p>	<p>行政職員が館の状況を日常的にモニタリングできる体制を整えるとともに、麻生市民館と分館の双方を継続して見守る役割を担う。また、市民館の振興事業を全て指定管理者へ移行させず、「市民館・図書館のあり方」で示されているとおり、アウトリーチ事業など一部の事業は行政職員が引き続き実施し、専門性を維持する。</p>
<p>これまでの分館職員は、来館者や地域の人に声を掛け合い、関係性を築いている。そうした地域密着の関係性を引き継いでほしい。</p>	<p>今後も地域密着の関係性は引き継いで欲しいと指定管理者に伝えたところである。このような関係性は継続していきたい。</p>
<p>50周年の記念事業開催を希望</p>	<p>前向きに検討したい。</p>
<p>生涯学習の拠点としてPRし、地域の人を対象とした魅力的な事業を展開してくれている。そうした事業は今後も企画してもらいたい。</p>	<p>現状、館と地域とのコミュニティができていて、地域のつながりが保たれていると感じている。そういった関係を今後も継続していきたい。</p>
<p>鶴川駅の再開発による人口変動等による地域課題や新旧住民とのつながりづくりをしていくよう工夫して事業を考えていくことはあるか。</p>	<p>成人教室事業は地域課題を反映した企画が可能。また、いろいろな意見をタイムリーに伺ったり、雑談から課題が見えるような『集まる場』づくりを行っていきたい。</p>